

第18回アビリンピック埼玉大会2022

(埼玉県障害者技能競技大会)結果報告



アビリンピック埼玉大会を7月2日(土)に開催しました。感染症拡大防止の観点から、開・閉会式を中止する等大会日程を圧縮しましたが、真剣に取り組む選手の皆様をより多くの方々に見ていただきたいため、本大会は有観客で開催しました。

大会に参加された選手は82人。12種目で熱のこもった競技が展開されました。大会には選手の引率、介助者以外で一般観客の方が110人も来られ、中には障害者の雇用を考えており、その職務のスキルを見に来たという民間企業の方もおられました。

大会で入賞された皆様、おめでとうございます。埼玉大会で金賞をとられた選手のうちの10人については、11月4日から幕張メッセで開催される全国アビリンピックに出場し、全国の代表選手とさらに熱い戦いが行われる予定です。選手関係者の方々は引き続きのご支援をお願いします。

埼玉大会では、凜とした雰囲気の中、選手が集中して競技に取り組んでいました。課題を読み込み、熟考してパソコンと格闘する姿や喫茶で接客する姿、様々な用具を駆使して清掃する姿など、多くの見せ場がありました。

	金賞	銀賞	銅賞	奨励賞
電子機器組立	1人			
表計算	1人	1人	1人	5人
ワードプロセッサ	1人	1人		2人
DTP	1人		1人	
ホームページ	1人	1人	1人	1人
パソコンデータ入力	1人	1人	1人	16人
パソコン操作	1人	1人	1人	2人
喫茶サービス	1人	1人	1人	10人
ビルクリーニング	1人	1人	1人	6人
ベッドメイキング(ペア)			1組	
オフィスアシスタント	1人	1人	1人	6人
小売物流ワーク	1人	1人	1人	3人



選手へのアンケートでは、「緊張したが、良い経験になった」、「会社での練習の成果を生かして競技に臨みました。また、来年も頑張りたいです」等の前向きな回答をいただきました。また、観客へのアンケートでは、ビルクリーニング、喫茶サービス、パソコンデータ入力の競技が印象に残ったとする割合が高く、「選手の熱意が感じられて良かった」、「競技のレベルの高さにびっくりした」との声もいただきました。今後とも大会の競技委員等と協議を重ね、来年度も選手の皆様にとって目標となり、達成感が得られるとともに、観客の皆様にも選手の前向きな姿勢や実力がわかる大会ができるよう努力していきます。

最後になりましたが、ご参加いただいた選手、選手の参加にご協力いただいた企業や特別支援学校、関係機関の皆様には感謝を申し上げます。

